

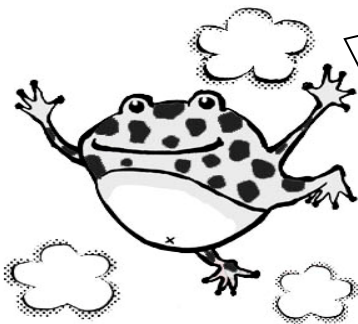
かえる便り 28年度17号

平成28年9月5日

初秋の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

教育は品物や機械を作るように、いつも想定した通りに生徒を育成することは出来ません。しかし、学校や教師には綿密な計画と指導を工夫して、定められた期間に一定の目標を達成する努力が求められます。それが選んで来てくれた生徒に対する責任であり、教師の使命だと思えます。

子育ては“家庭・学校・社会”の連携が必要です。“挨拶をする”“人に迷惑をかけない(約束・時間を守る・物を盗らない等)”“物を大切にする”これらは家庭という小さな社会で躰るべきことです。学校教育はその土台の上に高度な知識・判断力等を身に付けさせ、家庭や地域社会と協力しながら自律を促し、自立出来る人物にしなければならないと思えます。



『リーダーシップというものは、集い来た人に希望と安らぎを与え、また、みなが勇気と自信に満ちて帰っていけるように心を尽くす。そこにリーダーの重要な役目があると思う。』と誰かが言っています。

入学してきた生徒達が、希望に満ちた高校生活を送り、各々の夢を実現出来るようにしたいものです。そのためにも適正に判断出来る知識と豊かな感性を身に付け卒業させたいと思えます…

根なし草に花は咲かない。信念がなければ人生に花は咲かない！

某中学校のリーダー研修に卒業生数名が呼ばれ、『リーダーとしてプレッシャーや責任を感じるが、リーダーのあるべき姿は…』という質問に、他の人は「責任を重く受け止めないでやればよいのでは…」というようなことを話したそうです。一方、サッカー部のOBは『責任を伴う役目だから、リーダーとしての覚悟を決めて取り組むべきだ』という趣旨の発言をしたそうです。中学生や先生方の反応はどうだったでしょう…？ 成長していると思うのは、私だけでしょうか？